

1 単元名 書き手の工夫を見付けて文章を書こう 「すがたをかえる大豆」

2 単元の目標

- (1) 様子や行動などを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすることができる。 【知識及び技能】
- (2) 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える事例との関係などについて、叙述を基にとらえる事ができる。 【思考力、判断力、表現力等】
- (3) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 【学びに向かう力、人間性等】

3 単元の指導計画(全11時間)

- 第1次 全文を読み初めて知ったことや疑問に思ったことなどを書き、友達と交流する。(1時間)
- 第2次 ①～⑦段落の大豆の姿、工夫、手の加え方を読む。(5時間)
- 第3次 ③～⑦段落の事例の並べ方には順序性があることを読む。(1時間) ★本時
- 第4次 自分が選択した「すがたをかえる〇〇」をテーマに、書く内容、順序を考える(2時間)
- 第5次 単元で学んだ「事例の並べ方」を参考に「すがたをかえる〇〇」を書く。(2時間)

4 本時の計画(7時間目/全11時間 児童数〇名)

(1) 本時のねらい

段落相互の関係を捉えることについて、段落ごとに書かれている事柄を比べながら読むことを通して、筆者が読み手に伝わりやすいように事例の順序を考えて述べていることに気づくことができる。

【思考力・判断力・表現力等】

(2) 本時の展開

| 学習活動                                     | 教師の働き掛けと予想される児童の反応                           | ■評価 ○留意点  |
|--|--|---|
| 導入(5分)                                   | T1 今日勉強するところは、どこでしたか。                        |   |
| 1 担任が示した順序と教材文の順序を比較して、段落の「順序」に着目する。(3分) | C1 ③～⑥段落です。                                  | ○③～⑥段落を並べ替えた文章を担当が音読する。子どもに教材文とのズレに気づかせ、どこがずれているのか興味をもたせる。                          |
|  | T2 では、先生が読んでみます。(③～⑥段落を入れ替えた順序で教材文を担当が音読する。) |   |
|  | C2 え～っ、先生、読んでいる順序が違うよ。                       |   |
|  | C3 おかしいよ。                                    |   |
|  | T3 先生は、どんな順序で並べ替えたでしょう。                      |   |
| 2 学習課題をつかむ。(2分)                          | C4 先生の好きな食べもの順                               | ○③～⑥段落の中心文をそれぞれ短冊にしたものを用意し、段落の順序を入れ替えたものと教材文通りに並べたものの2通りを用意することで、段落と段落を見比べられるようにする。 |
|  | C5 おいしいもの順                                   |   |
|  | T4 先生は、好きな食べ物順に並べたんだよ。では、筆者はどんな順序で並べたのかな。    |   |
| <b>&lt;課題&gt;筆者は、③～⑥段落をどんな順序で並べたのか。</b>  |  |   |
| 展開(25分)                                  |  |   |
| 3 自分の考えと理由を書く。(8分)                       | T5 ノートに自分の考えを書きましょう。                         | ○考えをノートに書かせる際、自分の考えとその根拠の2つを書く。根拠となる言葉や文章をなるべく多く教材文から見つけている子どもを賞賛して価値付け全体にも促す。      |
|  | C6 (ノートに自分の考え、理由を書く)                         |   |
| 4 ペア対話で友達の考えにふれる。(2分)                    | T6 隣の席の友達に自分の考えを伝えましょう。                      |   |
|  | C7 (隣席の児童同士、自分の考えを伝え合う。)                     |   |
| 5 全体対話で考えを交流し、妥当性を吟味する。(15分)             | T7 筆者は、どんな順序で並べたのか、考えと理由を発表しましょう。            |   |

|  |   |  |
|--|---|--|
| <p>終末 (10分)<br/>6 まとめをする。<br/>(5分)</p> | <p>C8 私は、わかりやすい順だと考えます。<br/>③段落に「<u>いちばんわかりやすいのは</u>」と書いてあります。手の加え方がわかりやすい順序で書いてあると思います。</p> <p>C9 ぼくは、大豆の形に近い順だと考えます。<br/>③段落に「大豆を<u>その形のま</u>いったり、にたりして」と書いてあります。はじめは炒り豆・煮豆のように元の大豆の形と似ているけれど、④段落のきなこ。⑤段落の豆腐のように、だんだん大豆の形が見えなくなっていくからです。</p> <p>C10 私は、手間のかけ方が少ない順だと考えます。③段落では、「<u>煮る</u>」だけ、「<u>煎る</u>」だけなのに、⑤段落では「<u>浸す</u>」「<u>つぶす</u>」「<u>かきまぜる</u>」と手間の数が増えていくからです。</p> <p>C11 C8とC10は、似ていると思います。「いちばんわかりやすい」とは、加工するのが簡単でわかりやすいということと意味は同じだからです。</p> <p>C12 C9は、必ずしもそうとは言えないと思います。確かに③～⑤段落までは大豆の形がだんだん見えなくなっていくけれど、⑥段落の納豆は、また大豆の形が見えるからです。</p> <p>T8 筆者は、なぜこの手間のかけ方がわかりやすい順に並べたのでしょうか。手間のかけ方が複雑でわかりにくい順に並べてもいいのではありませんか。</p> <p>C13 それだと説明がわかりにくくなる。</p> <p>C14 読んでいる人に伝わりやすいようにわかりやすい順や簡単な順に並べた方がいい。</p> <p>T9 話をまとめます。筆者は、どんな順序で並べたのですか。</p> | <p>○事例の並べ方には、理由があることを確認する。</p> <p>○手間のかけ方が③段落から⑥段落へ漸増していることを黒板上に可視化して実感させる。</p> <p>③段落 いる豆：<u>いる</u><br/>④段落 きなこ：<u>ひく</u><br/>⑤段落 とうふ：<u>ひたす</u>→<u>すりつぶす</u>→<u>かきまぜる</u>→<u>しぼり出す</u></p> |
|--|---|--|

**<まとめ>筆者は、読み手にわかりやすいように、③～⑥段落を手間のかけ方が少なくわかりやすい順序で並べた。**

|                            |  |  |
|----------------------------|--|--|
| <p>7 振り返りをする。<br/>(5分)</p> | <p>T10 あなたがこの後書く「すがたをかえる〇〇」の「中」は、どの順序で並べたいですか。順序と、そのように並べた理由を書きましょう。</p> <p>C15 ぼくの「すがたをかえる牛乳」では、読み手に伝わりやすいように子どもが食べるもの→大人が食べるものと並べたい。<br/>アイスクリーム→ヨーグルト→チーズ→生クリーム</p> | <p>■自分が書く「すがたをかえる〇〇」において、自分の選んだ理由に整合した順序で事例を並べているか。(振り返りの記述)</p> |
|----------------------------|--|--|

**(3)本時の評価**

自分が書く「すがたをかえる〇〇」において、自分の選んだ理由に整合した順序で事例を並べているか。  
(思考力・判断力・表現力)

**【板書計画】**

